



サンエーパルコ地区ビーチクリーン ニュースレター



一般社団うらそえ里浜・未来ネットワーク 2021/02/04 No.5

第5回は、海没地の海岸漂着ごみを回収しました！

1月28日（木）14:00～15:30、曇り、少し肌寒い中での作業となりました。参加者は、サンエーパルコシティ、OKINAWA CERRADO COFFEE BeansStore、THE NORTH FACE+、OUTDOORSHOP NEOS、港川自治会、浦添市（環境保全課）の合計13名のボランティア協力で開催しました。大変お疲れさまでした。今回のビーチクリーン活動は、令和2年度おきなわアジェンダ21県民会議NPO等環境ボランティア活動支援事業の助成を頂いて開催しています。今年は新型コロナの影響で、様々な事業が延期され活動規模も縮小せざるを得ない状況ではありますが、同じく社会貢献を目的とする団体等と里浜保全・活用の協働の仕組づくり定着に向けて、今後も取組んでいきたいと思ひます。

海没地区の清掃活動



作業は人変でも楽しんでボランティアを



終了後、参加者で記念撮影



ごみ袋に入らない大型の漁具類が多い

西海岸冬の風物詩、大型漂着ごみの到来

カーミージー橋を左手に車窓から眺めるとキャンプキンザーのフェンス際に波打ち上げられた大型漂着ごみが点々と続いて見られるようになりました。西海岸道路が開通してすっかりお馴染みに加わった西海岸の貴重な景観です。近づいてみると、魚網漁や養殖用のフロートなど様々な形・色をした現物が仲良く並んでいます。また、母国韓国・中国・台湾などから遥々やって来たペットボトルも、瓦礫の隙間にある砂浜やアーサの仲間入りをし、すっかり風景と一体化しています。

回収ごみ類は、那覇港管理事務所で処理

当日、回収したごみ類

単位：kg(ごみ袋数)

	燃えるごみ	燃えないごみ	その他 袋に入らないもの
海没地区	66 (20) プラスチック類、ペットボトル等	— ※今回は対象外	150 タイヤ、魚網、ロープ、球状ブイ、プラ片・発泡スチロール製フロート、バスボンベ等
合計	216 (20)		

※今回はプラスチック、発泡スチロール等を中心に回収。金属類のごみは少なかったですが、大型の漁具類が多く、回収できない物は現地（波で流されない場所）に残して置きました。次回、移動して処理したいと思ひます。

第6回は2/26(金)午前9時30分～です

最後のビーチクリーンは、当初の予定日を変更して、カーミージー橋下の海没地区で開催します。前回、回収できなかった大型の漂着ごみを中心に、国外のペットボトル類も多数見られるので、可能な限り効果的に処理したいと思ひます。海岸での作業は1時間程ですが回収率を上げるために、協力できるボランティアの方を増やせるよう、呼び掛けたいと思ひます。参加協力をお願いします。